

ちかこ だいより

第3号 2020.3



ちかこイベント2020(仮)は、新型コロナウイルスの感染拡大により、開催を断念しました。

豊島区ミュージカル第7弾 「Life on Stage ～東池袋のキセキ」
豊島区東池袋にあるサンシャイン60を擁するサンシャインシティ。いまやアニメの聖地として有名になりましたが、ここはかつて巣鴨プリズンと呼ばれる「刑務所」でした。

2020年5月4日(月・祝)・5日(火・祝) あうるスポットにて ちかこイベント2020(仮) 併催決定！

第3号のテーマは「豊島の文化と歴史を伝えたい」
「ここから編集会議がスタート」
豊島区地域活動交流センター運営協議会が発行する「ここからの地域活動を区民のみならずと共々考えるニュースレター」ちかこだいより第3号の企画会議は、「豊島区の地域・歴史・人を伝える」をテーマに話し合いが始まりました。

集まったのは、日頃、豊島区内の樹木を保全や草花の手入れをしているグループや、毎年豊島区の空襲の犠牲者を追悼し、被災体験をインタビューして集めているグループ、暮らしの語り部を発掘し、語りを動画アーカイブとして記録しているグループなど、計4つの団体。

それぞれがこれまでの活動を紹介し合い、今後の課題を考えていくうちに、皆に共通する悩みが浮かび上がってきました。

「つながっている」の意味に世代間ギャップが生じている
インターネットによって、人と人がつながっている。活動が続けられているうちに参加者が減っており、若い世代の参加者を募るのが難しい」ということ。勤め人は仕事が忙しく、関わりたくてもなかなか関われないといった課題があります。また、インターネットによって検索すれば簡単に情報が調べられたり、いつでもコミュニケーションが取れるのが当たり前になっていく時代に、実際に街に出ていき、世代の違う隣人とも交

地域活動団体の共同企画で「ちかこイベント2020」をゴールデンウィークに開催！

そこで幅広い世代に、もっと活動をアピールすることが大切だと皆の意見が一致し、共同で啓発イベントを行うことが決定しました。

開催はゴールデンウィークの5月4日と5日。この日、豊島区を題材にしたミュージカル「Life on Stage ～東池袋のキセキ」の公演に合わせて、豊島区の文化や歴史を学べるタイムトンネル「のぞいてみよう！むかし・いま・あした」を開催します。

地域活動交流告知ボード

仲間募集
NPO法人「としまの記憶」をつなぐ会
平成24年(2012年)7月NPO法人認証を取得。同年8月に豊島区制施行80周年記念事業「記憶の遺産80」を豊島区より受託。80本の語り部動画の制作をしました。その後、各区民ひろばを中心に新作上映会やセミナー等を実施しています。平成27年9月には、豊島区・東京芸術劇場・立教大学共催『戦後池袋-ヤミ市から自由文化都市へ』で9日間のギャラリートークを実施。

「社会貢献活動見本市」には平成23年(2011年)から動画上映会、ミニセミナーなどを中心に毎年参加。「としまの文化はとしまの記憶の蓄積から」をコンセプトに「いつ」「どこでも」語り部の動画が見られるようにWEB公開(現在約400本)も行っています。

「としまの記憶」動画アーカイブ：
movie.toshima-kioku.jp
メール：
npo@toshima-kioku.jp
FAX：
050-3488-9494

仲間募集
豊島みどりの会
設立は2006年4月、便利な豊島区の豊かな環境づくりのために、みどりの保全、普及啓発、支援活動を行い、地域コミュニティの形成を目的に活動しています。

活動は①毎月の会報発行、②手入れ等のボランティア、③調査活動・勉強会(名木探し、MAPづくり、サクラセンサス等)など多彩な活動を行い、「住みつけたい街としま」を目指しています。

活動ホームページ：
toshimamidori.doorblog.jp
メール：
toshimamidori@googlegroups.com

仲間募集
4・13 根津山小さな追悼会 実行委員会

1945年4月13日、東京北西部に空襲があり豊島区は16万人が被災し、778名の方が亡くなり、区の7割が焼失、当時の根津山(現在の南池袋公園)に御遺体が仮埋葬されました。

戦後50年を機に地元有志により空襲犠牲者追悼会が開催され、併せて犠牲者を悼む碑の建立を区に要請し「豊島区空襲犠牲者哀悼の碑」が建立されました。以降、毎年4月13日に碑の前で追悼会を開催し、空襲体験を語り継いでいます。

ホームページ：
413nezuyama.blogspot.com
メール：
honbu@npo-clover.net

仲間募集
NPO法人 ムジカフォンテ
劇団ムジカフォンテは、歌や芝居の稽古、公演を通して人とふれあい、協力することで心と身体を鍛え、真に輝く子ども達を育成する事を目的としています。人間の根本である五感をフルに活用させ、そこにつながる音楽と自己表現である演技力を通じ、人間力の育成を行います。

3つの活動テーマ「LOVE ME」「笑顔」「あきらめない」

NPO法人ムジカフォンテは、劇団ムジカフォンテを通じ、未来ある子ども達の健全な育成をあらゆる方面から応援する目的で2013年に設立しました。(代表理事 知久晴美)

メール：
musicafonte@coda.ocn.ne.jp

2019年5月あうるすぽっとにて豊島区ミュージカル第6弾「トキワ荘のユメ・未来へ」より

地域活動交流センター
区内の地域活動団体への支援や交流のための施設です。
総合受付時間：月～土 10:00～12:00、13:00～18:30
(年末年始、日祝日、イケビズ休館日は定休)

【区民活動支援講座のご案内】
地域活動の支援を目的に区が実施している講座です。

地域活動交流センターとは

「としま産業振興プラザ (IKE-Biz)」4階、地域活動に興味がある方ならどなたでも利用できる「情報収集や交流のためのスペース」です。地域活動に関するイベント等のチラシが収集できたり、「ちかこイベントクラブ」と称した自主企画（講座）なども開催されています。



団体登録のすすめ

登録団体は、作業コーナーや会議室（予約制）が利用できます。また、登録団体の皆様と「運営協議会」を組織し、定例会で施設の利用や運営方法等を検討しています。その中で他の団体の人と知り合えたり、活動に必要なネットワークづくりも行うことができます。

団体登録の要件

1. 公益性のある活動であること
2. 区内で活動を継続していること
3. 区内のNPO法人、または構成員4名以上のうち、区内在住・在勤・在学者が2名以上の団体
4. 特定の政治活動、宗教活動を行う団体ではないこと
5. 営利を主目的とした団体ではないこと
6. 定款・会則等があり、会計の処理が適正になされていること
7. センターの運営や事業に協力すること

登録申請窓口

区民部 区民活動推進課
 協働推進グループ TEL 03-4566-2314
 (豊島区南池袋 2-45-1 区庁舎 6階 13番窓口)

●キャンプ体験コーナー

テントを張ってシュラフを置いておきます。中に入って寝てみよう！
 (担当/エコ・コミュニケーション・センター)

ちかこイベントクラブ
 のぞいてみよう！

【開催日時】

5月4日 (月・祝) 13:00 ~ 20:00

5月5日 (火・祝) 13:00 ~ 20:00

【会場】

「あうるスポット」ホワイエ

豊島区東池袋4-5-2
 ライズアリーナビル2階

豊島区民ミュージカル
 新作「東池袋のキセキ」

劇団ムジカフォンテ (NPO法人ムジカフォンテ) による豊島区民オリジナルミュージカルの公演は今年第7回目。舞台は「巣鴨プリズン」です。いまやアニメの聖地となっているサンシャインシティ60、ここにあった「刑務所」の名前。昭和20年春、ここで何が起きたのか…。
 現在、初稽古が2月29日に始まったばかり。作品のハイライトは第九の大合唱と総踊り！老若男女たくさんの人たちで埋まる舞台をお楽しみに!!

【公演情報】

豊島区ミュージカル第7弾
 「Life on Stage ~東池袋のキセキ」

5月4日 (月) は18時開演
 5月5日 (火) は14時・18時開演
 お問い合わせ ☎080-3270-6028
 (担当/劇団ムジカフォンテ)



●朗読会

1945年4月13日、東京北西部に空襲があり区の7割が焼失、犠牲者は当時の根津山（現在の南池袋公園）に仮埋葬されました。体験者から空襲当時の話を聞き取り、「被災体験集」を発行している市民団体「4・13 根津山小さな追悼会」が、その一部を朗読する会を行います。
 ※実施時間未定

●としまの語り部 動画上映

昔むかしの人々の暮らし、街の変化や出来事についての「顔の見える証言」を集めた動画アーカイブを作成しているNPO法人『としまの記憶』をつなぐ会では、証言動画の上映やスマホでの鑑賞を行います。

●古い写真の寄贈コーナー

会場内に「写真ボックス」を設置します。区民のみなさんご家庭に眠っている、昔のとしまの暮らしがわかる古い写真を寄贈していただければか？
 (担当/「としまの記憶」をつなぐ会)

過去から学んで 現在を知り 未来を描く at としま
 “むかし・いま・あした”

ちかこイベント2020(仮)は、新型コロナウイルスの

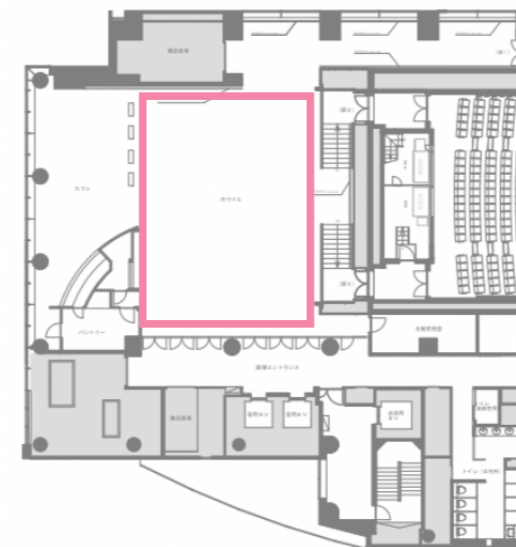
感染拡大により、開催を断念しました。



古きをたずね 新しいとしまの魅力を再発見！
 2020年「としまタイムトンネル」で時空を超えよう！

【会場図】

「あうるスポット」ホワイエ



●展示「としまタイムトンネル」

としまの地が記憶している時の流れを、戦前・戦中・戦後・現在、そして未来へとゾーンを分けて紹介します。

【展示例】

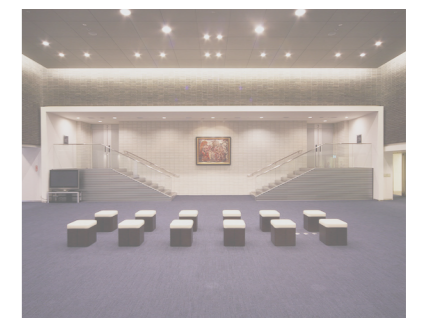
- 戦前/根津山、文豪の住む土地、雑司が谷霊園など
- 戦中/防空壕、空襲、東京大空襲、常北大空襲
- 戦後/終戦の日、玉音放送、戦後ヤミ市、復興都市へ

●としまの記憶の「樹」

老若男女の来場者のみなさんに、古き良き思い出や、としまへの想い、希望などをポストイットに書いて貼っていただくコーナーです。

としまの温故知新
 タイムトンネル

歴史を語り伝えることは未来への遺産。大切な過去の記憶を、高齢者から引き継いで後世にまで伝えていきたい。
 このイベントは、子どもから高齢者までが一同に集い、思い出や記憶を共有し、未来につないでいくための「タイムトンネル」です。



「あうるスポット」ホワイエ



企画会議の様子

「あうるスポット」のホワイエに5月4日・5日、豊島区の過去・現在・未来がみえるタイムトンネルが出現

このイベントは、豊島区地域活動交流センター運営協議会が主催する「ちかこイベントクラブ」の企画として開催されます。

教科書に乗っているような大きな歴史ではなく、身近な地域で、人々が生きてきた証としての「としまの記憶」を残したいという強い思いが、参加メンバーの中に共通としてありました。特に令和の時代に入り、第二次世界大戦の体験を語る人がだんだんと少なくなっていくなかで、それらの記憶をどうやって記録し、次世代に伝え、未来のまちづくりに活かしていけるかをみんなで考えたいという思いが一致しました。

豊島区には脈々と流れる特有の文化があります。2020年にあらためて豊島区の温故知新をめざし、「過去から学んで 現在を知り 未来を描く at としま」というメッセージを発信します。